

県央三市自治会連絡会 意見交換会ご報告

開催日時：令和2年2月3日(月)午後3時～5時

開催場所：海老名市役所 401 会議室

参加者 綾瀬市自治会長連絡協議会 役員4名、市職員3名

座間市自治会総連合会 役員7名、市職員3名、事務局1名

海老名市自治会連絡協議会 役員7名、市職員3名、事務局5名 の合計33名。

A・B・Cの3グループに役員が分かれ、それぞれ2テーマについて話し合った。

- 【テーマ】**
- | | | |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| Aグループ | ① 自治会の防災対応について | ② 広報活動について |
| Bグループ | ③ 自治会の福利厚生について | ④ 今後の自治会活動について |
| Cグループ | ⑤ 環境美化活動について | ⑥ 敬老事業について |

・・・ 意見交換の内容 ・・・

① 自治会の防災対応について

- ・海老名と綾瀬) 行政の指導で訓練を実施しており自主組織だけの活動はしていない。
- ・綾瀬) 市内15箇所の小・中学校が一斉に避難所開設訓練をする。
- ・座間) 一次避難所について避難所運営委員会が組織として立ち上がり活動している所と進んでいない所がある。危機管理課の標準マニュアルを元に、訓練を通してマニュアルをカスタマイズしていること等を説明。



② 広報活動について

- ・海老名) 年1回広報紙を発行している。
- ・綾瀬) 市の広報紙に行事の案内を載せているが協議会では発行していない。
- ・座間) 年度で全戸配布紙2回、回覧での広報紙は随時(元年度は2回)発行。ホームページを運営し、記事の収集とアップ作業が大変だが、自治会員に情報を知らせることと未加入世帯に自治会活動を知ってもらう窓口になる。

Q「広報活動は必要か？」

- ・会員目線で地域の活動を紹介し、自治会活動に「興味と理解」をしてもらえる「動機づけ」と「加入促進」の意味合いもあると集約。

Q「広報紙の自治会員全戸配布は必要か？」

- ・全戸配布は経費がかかる。
回覧は費用面の軽減はできるが記事を読まずに次に回す傾向があり、家族に読んでもらうには全戸配布の方が良く、情報の共有化が進むのではないかと集約。

③ 自治会の福利厚生について

Q「三市の連携で福利事業を立ちあげられないだろうか」

- ・連携をするには事業のメリットとデメリットを検討する必要がある。
- ・宿泊施設の利用などは検討出来るのでなかろうか。
- ・三市の連携は難しいのでは。モデル事業を見せて欲しい。
(相模原自治会連合会発行の自治会員専用割引 Jichi pass 提携業者の料金割引などがある)

④ 今後の自治会活動について

- ・単位自治会の会員世帯数が三市で違いがある。
綾 瀬) 15 自治会で単位自治会の世帯数は 2,000 名~4,000 名。
座間・海老名) 自治会が多く、単位自治会の世帯数は 200 名~2,000 名。
座間は単位自治会の会員世帯数は 200 名以下が多い。
- ・自治会活動に子供会・地区社協・老人会を取り込むために、イベントや見守りを継続して行っていく。
- ・組長・町内会長の仕事の簡素化し、役員と他の団体の役員の重複は避ける。
- ・地域性もあって課題が違うことが分かった。
- ・共稼ぎ世帯は自治会に入っていない。自治会の存続自体が危ういのではないか。
- ・自治会員を増やすには転入する人を勧誘するのは必須。



⑤ 環境美化活動について

Q「燃えるゴミ有料化について」

- ・海老名) ゴミ収集を有料にして個別回収になって量が 2 割減った。しかし雑な出し方で烏に荒らされる問題もでてきた。
- ・綾 瀬) 有料化のモデル地区を作って試している。
- ・座 間) 有料化の予定はない。

Q「美化デーについて」

- ・綾 瀬) 年 1 回、市と協働で清掃を行っている。
- ・海老名) 公園の清掃活動や毎月第 3 日曜に地域の美化デーとして美化活動をしている自治会がある。
- ・座 間) 毎年 11 月に一斉美化デーを行っている。
集積場所へのゴミの運搬にトラック借りた場合、補助として 1,000 円がでる。



Q「その他」

- ・綾 瀬) 集積所の確保は悩ましい。
資源回収場所の管理手当に (1,000 円/1 時間) 出しているところがある。
- ・座 間) 環境意識啓発のため視察研修会を実施し、一般募集で直ぐに定員に達し人気がある。

⑥ 敬老会事業について

- ・綾 瀬) 自治会員・非会員を問わず 75 歳以上に市から補助金が出て敬老事業を行っている。(1 人 1,500 円、手伝いに 500 円)
場所の確保や送迎の大変さから開催を取りやめ記念品配布のみの自治会もある。
会場までの足の問題で参加率が 3 割を切るなど低下しており、存続を考える時期になっている。
会場を小学校にして小学生と交流会を開いているところもある。
- ・海老名) 自治会員・非会員を問わず 65 歳以上(70 歳以上の地域もあり)の人に社協から補助金を受け敬老会を行っている。
(対象者は人口約 34,000 人/約 134,000 人 25%)
- ・座 間) 地区社協と共催で祝賀会や食事会を開催している所がある。

